

第16回 土岐川流域新五流総地域委員会 議事概要

日時：令和8年7月24日（金）9:30～11:00

場所：東濃西部総合庁舎 5階 大会議室

1. 議事

(1) 規約の改正について

(資料1)

(2) 「土岐川流域における総合的な治水対策プラン」の進捗について

(資料2) (別紙1, 2, 3)

(3) その他

①内外水統合型リスクマップ

(資料3)

②流域タイムライン

(資料4)

③新たな防災気象情報の運用

(資料5)

④河川課の取組みについて

(資料6)

⑤「水防災意識社会再構築ビジョン」地域の取組方針の改定について

(資料7)

⑥砂防部局の取組みの共有について

(資料8)

2. 議事要旨

(1) 規約の改正について

事務局から提示された規約改正案について審議を行い、原案どおり承認された。規約改正日は、本日付けで施行することとした。

(2) 「土岐川流域における総合的な治水対策プラン」の進捗について

事務局より、資料2および別紙1～3を用いて、ハード対策（河川整備、耐震化、長寿命化）およびソフト対策の進捗状況について説明があった。土岐川、肥田川、小里川における河川改修事業の状況に加え、河川構造物の長寿命化・耐震化対策、水位計設置、防災教育等の取組について報告があった。

その後、各市から流域治水に関する取組状況について説明があった。

①多治見市

・下水処理場の防水板設置、水防訓練の実施、普通河川の浚渫、調整池の維持管理

②土岐市

・防災行政アプリを本格運用、市内8箇所への河川監視カメラ設置

・YouTube および防災アプリを活用した情報提供

③瑞浪市

・普通河川の浚渫を継続実施、田んぼダム事業の実施設計を実施中

④恵那市

・普通河川の浚渫、森林整備、河川監視カメラの設置、防災アカデミーの開催

【主な意見】

○土岐市水防団

- ・土岐市中心部の中央橋および土岐津橋について、橋脚数が多く流下阻害となっていることから、大雨時の越水・浸水リスクが高い状況が続いている、完成後100年近い年月が続いているとして、早急な対策を要望したい。

○国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所、土岐市

- ・課題については認識しており、橋梁の架け替えにあわせた堤防整備については関係機関との調整やまちづくりの観点も含めて検討を進めていく。

○土岐川観察館

- ・環境学習と防災教育を一体的に進めることが重要であり、子どもたちに対して工事の必要性や河川の成り立ち、水害リスク等を伝える機会の充実をお願いしたい。

○多治見土木事務所

- ・河川砂防課の技術職員を中心に、防災教育への支援を継続していき、多治見砂防国道事務所と連携して作成した砂防副読本も活用し、防災教育を推進していく。

(3) その他

関係機関から資料に基づく情報提供があり、その後、質疑応答および意見交換が行われた。

①国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所

- ・外水氾濫と内水氾濫を統合した水害リスクマップについて説明し、土地利用や避難計画等への活用を呼びかけた。
- ・流域全体で防災行動を共有する「流域タイムライン」について説明し、令和8年度から試行運用を実施することを紹介した。

②岐阜県河川課

- ・県内初となる特定都市河川の指定について説明した。
- ・低コストかつ機動的に運用できる河川監視カメラ：モバイルカメラの導入を紹介した。
- ・「NIPPON 防災資産」の取組について紹介した。
- ・各市町村内で実施される流域治水の取組について幅広く情報収集するよう呼びかけた。
- ・「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組方針について、令和8年度から令和12年度を対象期間とする新たな取組方針を策定予定であることを説明した。

③岐阜県砂防課

- ・土砂災害対策の新たな取組として、基礎調査予定箇所の事前公表、地形情報のオープンデータ化、「ダイナミック SABO 岐阜」による防災啓発について説明があった。

【主な意見】

○土岐川漁業協同組合

- ・工事等に伴い道路や河川が汚れる場合があるため、工事内容について事前に情報提供をお願いしたい。
- ・カワウ被害調査を実施しているため、多くのカワウを見かけた場合は情報提供をお願いしたい。

○原田委員長

- ・ 県事業だけでなく、市が実施する普通河川等の工事についても漁協組合への情報共有が重要である。
- ・ 流域治水は治水対策にとどまらず、「まちづくり」の視点が重要である。
- ・ 気候変動に伴い豪雨リスクは今後さらに高まると考えられる。
- ・ 行政だけでなく、住民や事業者を含めた流域全体での取組が重要である。

以 上